

広島バス29号線の本格運行（案）について

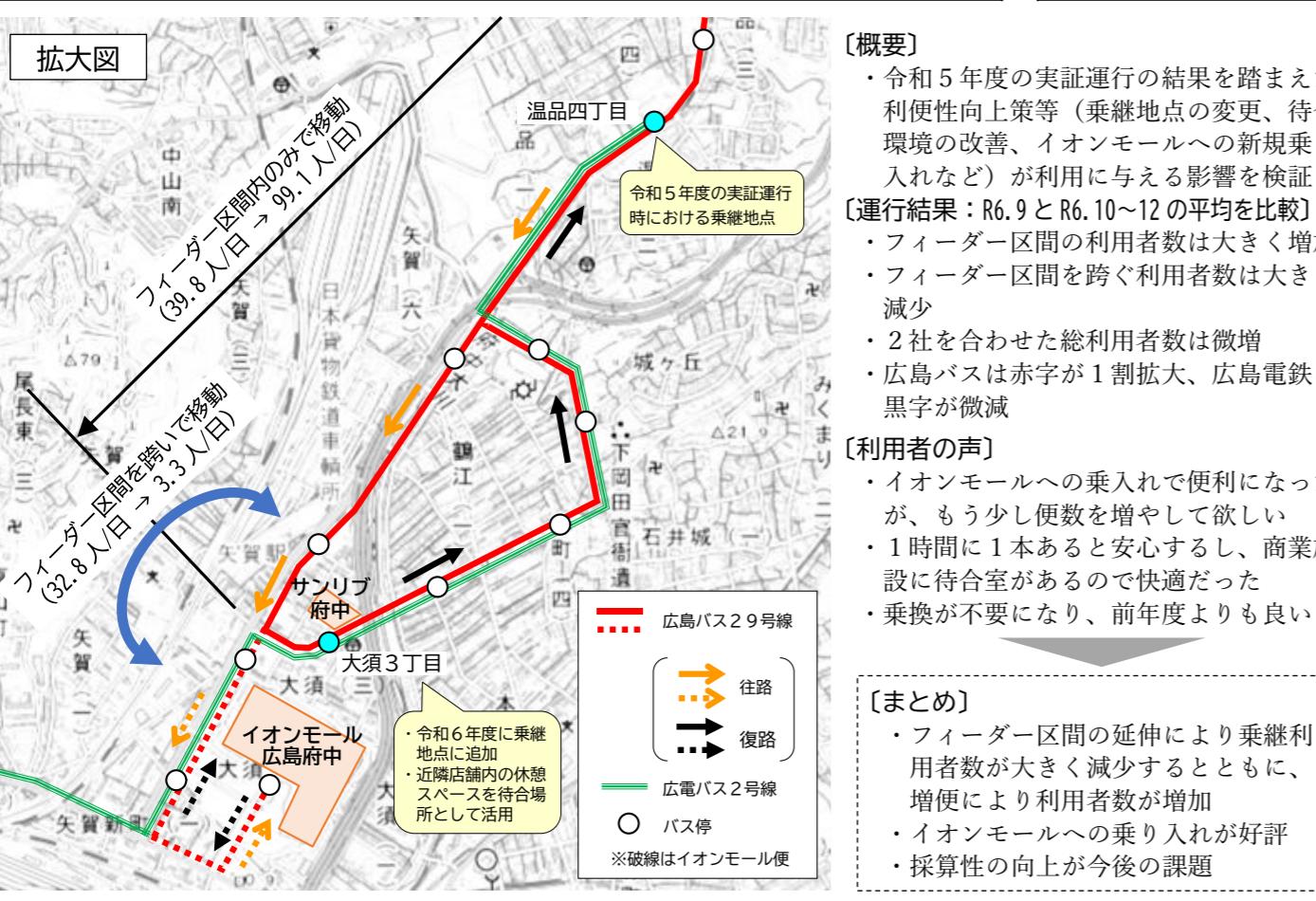
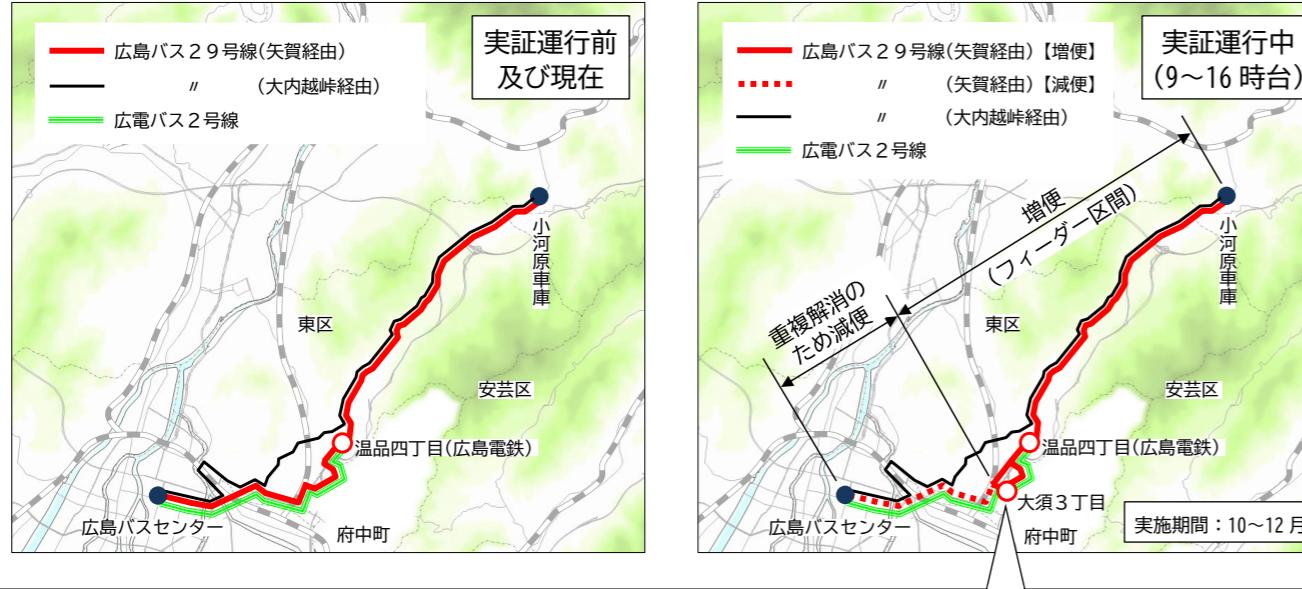
1. 主旨

広島バス29号線と広電バス2号線は、温品四丁目～広島バスセンター間で路線が重複しており非効率となっていることから、重複の解消による効率化とダイヤ拡充の効果検証などを目的に、令和5年度、令和6年度の2か年をかけて実証運行に取り組んできました。

この度、これまでの結果を踏まえて本格運行に移行するに当たり、その内容を説明するものです。

2. 昨年度の実証運行の結果（昨年度の結果は別紙参照）

〔運行ルート図〕



3. 本格運行（案）

（1）運行概要

昨年度の実証運行の内容に更なる利用促進策を講じ、次のとおり本格運行に移行します。

運行事業者	広島バス
対象路線	29号線（矢賀経由）
運行開始日	令和8年3月11日（水）（予定）
時間帯	朝夕ピーク時を除く9時台～16時台
ルート	令和6年度の実証運行と同一
昨年度からの主な変更点	イオンモール広島府中へ乗り入れる便数を、1便から4便に増便

〔小河原車庫発のダイヤ（オフピーク時のみを記載）〕

R5実証運行前

時	分
9	36
10	36
11	37
12	
13	
14	
15	

R5実証運行

時	分
9	48
10	48
11	50
12	48
13	48
14	38
15	38

R6実証運行

時	分
9	36
10	36
11	36
12	28
13	28
14	37
15	37

本格運行（案）

時	分
9	36
10	36
11	36
12	27
13	27
14	27
15	27

イオンモール便の増便

（2）運行頻度の考え方

当該路線は、矢賀経由と大内越峰経由で構成されていますが、このうち、矢賀経由はデルタ周辺部と郊外部を結ぶ「枝線」であることや、昨年度の利用実績及び利用者の声などから、概ね60分間隔での運行が適正と考えます。

4. 本格運行後のモニタリングについて

本格運行後も、利用者数や収支、利用者の声などを継続的にモニタリングし、必要に応じて運行計画の見直しを行うとともに、モニタリング結果等は本分科会に報告します。

5. 今後の予定

令和8年2月下旬 沿線町内会等への周知
3月11日～ 本格運行開始